

2021年2月10日

各位

会社名 株式会社 デジタルホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野内 敦
(コード番号 2389 東証第一部)
電話 03-5745-3611

通期連結業績予想との差異に関するお知らせ

2020年12月17日に公表しました2020年12月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値との差異 (2020年1月1日～2020年12月31日) (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	87,331	2,026	3,142	3,107	139円06銭
今回実績値 (B)	88,768	3,240	4,358	3,750	167円86銭
増減額 (B-A)	1,437	1,214	1,216	643	
増減率(B/A)%	1.6	60.0	38.7	20.7	
(ご参考) 2019年12月期	89,953	2,633	2,833	1,928	84円23銭

2. 差異の理由

当社グループは、マーケティング事業とシナジー投資事業の2つの事業で構成されております。

マーケティング事業では、インターネット広告事業を軸にデジタルマーケティング事業およびその関連サービス等の提供をしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け広告需要が低迷していたものの、2020年5月をボトムに緩やかな回復傾向にありました。一方で、例年、特定業種顧客から、年末に向け広告需要が拡大する傾向にあるものの、2020年12月期は新型コロナウイルス感染症の流行拡大が広告需要に影響を及ぼしている状況を鑑み、前年と同水準の年末広告需要は見込めないと想定しておりました。しかしながら、特に大手領域において、特定業種顧客からの年末における広告需要を着実に確保出来たこと、また、継続的なコストコントロールが奏功し、想定よりも販売管理費が縮小いたしました。

シナジー投資事業では、金融投資や新規事業開発等で構成されており、株式市場の動向等により業績の変動が大きく、連結業績予想を精度高く開示することは難しい状況であるものの、上場株式の一部売却や投資先企業の IPO が確定したことにより、2020 年 12 月 17 日の公表時点において入手可能な情報等に基づき業績予想を算定いたしました。このような中、投資先の IPO による価格が想定以上であった影響等により業績が上振れました。

これらの結果、連結営業利益は 3,240 百万円（前回発表予想比 60.0%増）、経常利益は 4,358 百万円（前回発表予想比 38.7%増）、となりました。

以上

（注）本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、実際の決算数値と異なる可能性があります。